



11/26 日

11:00 ~ 15:00

和白白干潟・海の広場 (福岡市東区和白4丁目)

参加無料 小雨決行、雨天中止



ハマニンニクの穂が出る頃に

♥ マリンワールドの
お魚水そうもあるよ!

どんな水鳥がいるかな?
干潟の生きものと遊ぼう!



第35回
♥ 和白白干潟の自然を楽しもう!
ラムサール条約登録をめざして!
和白白干潟まつり

新型コロナウイルス感染防止対策をとって開催します!

くわしくは2Pを見てね!

第35回 和白干潟まつり

11月26日(日)



11:00~15:00 参加無料

干潟の生きものと遊ぼう

♡ マリンワールドの

お魚水そう展示もあるよ!

会場 和白干潟・海の広場

(東区和白4丁目海岸) 駐車場なし
小雨決行・雨天中止

主催/ 和白干潟まつり 実行委員会

[構成団体] 和白干潟を守る会、
グリーンコープ生協ふくおか福岡東支部

協賛団体/ 日本野鳥の会福岡支部、博多湾会議

お問い合わせ
お申込み

松尾・090-9651-8489

カンパなどのお願い



第35回和白干潟まつりを成功させるために、
皆様のご協力をお願いいたします!!

1. カンパは干潟まつりの運営資金や保険料などにあてます。
2. 他の会の機関誌にも干潟まつりの案内を掲載したり、チラシの配布にもご協力下さい!

カンパの送り先: 和白干潟を守る会
郵便振替 01720-4-23860

新型コロナウイルス感染防止対策については、自宅での検温、会場での手指の消毒、マスクの適切な着用をお願いします。

ラムサール条約登録をめざして

今年もラムサール宣言を出します!
福岡市長のメッセージが届きます!

プログラム

開会式・ラムサール宣言	11:00~11:20
バードウォッチング	11:20~12:00
自然あそび	12:00~12:35
植物観察	12:40~13:15
干潟の生物観察	13:20~14:00
ステージ(紙芝居ほか)	12:30~14:00
一言アピール	14:00~14:15
心を合わせて	14:15~14:25
干潟の掃除	14:30~14:50
お魚水そう展示	11:20~14:50
写真展・パネル展	11:20~14:50
模擬店	11:30~14:50
閉会式	14:50~15:00

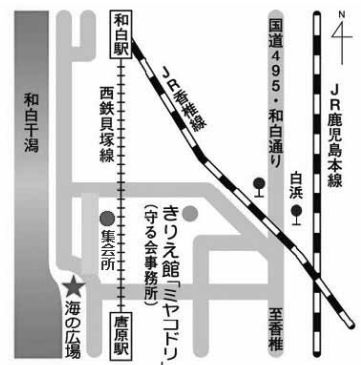
干潟まつり ボランティア募集!!

前日 11/25(土) 15時~ 会場整備
当日 11/26(日) 9時~ テント設営、
運営手伝いなど

応援お願いしま~す

交通

- 西鉄貝塚線
唐原駅より
徒歩5分
- 西鉄・JR和白駅
より徒歩10分
- 西鉄バス
白浜バス停より
徒歩5分



今回は飲食物もありますよ!
参加される皆さん、長靴・敷物・水筒を
持って来てね!

和白干潟の観察会のようす

(今林 眞由美)

7月15日 和白干潟の生きものやハマボウを見る会 (和白干潟保全のつどい主催) 49名参加



夏の日差しの中、35名の一般参加者といっしょに2003年に一本のハマボウを見つけてから始まった「ハマボウを見る会」の歴史を聞いたあと、唐原川河口から自然観察をしながら、牧の鼻のハマボウの群落まで歩きました。たくさんの種類のカニが観察されて、あちこちで子供たちの歓声が聞こえました。満開のハマボウの花をバックに記念写真を撮り、ゴミ拾いをしながら帰りました。



ハマボウの花

7月30日 第25期 和白干潟の自然観察ガイド講習会

12名参加

「和白干潟の楽しさ再発見の観察会」フィールド編

5月7日の九州大学の清野聡子先生の講習会の続きを和白干潟で行いました。清野先生は岸辺の植物や干潟の生きものをクイズや豆知識を交えて紹介されました。全員が夢中で生きもの探しをしました。参加された家族の子供たちは海水に濡れるのも構わず楽しんでいました。雨上がりで、空も立花山も美しく輝いていました。

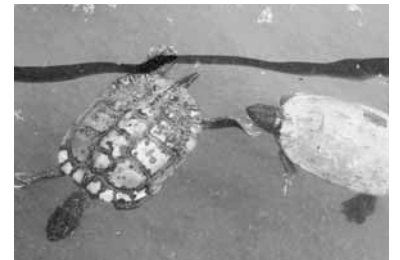


8月18日 日本自然保護協会「日本のカメ一斉調査」参加のカメ調査

5名参加



和白干潟に流れ込む三つの川（唐原川、和白川、五丁川）の流域とそれぞれの源流のひとつの池（山の神池、大蔵池、四十ヶ浦池）で、カメ調査をしました。条件付特定外来生物のミシシippアカミミガメ以外の在来種のカメや在来種の交雑種も見つかりました。カメ以外にもたくさんの夏の植物や生きものに出会えた楽しい観察会でした。



9月23日 国際ビーチクリーンアップ・ゴミデータ調査

31名参加

国際ビーチクリーンアップは、世界的規模で一斉にゴミ調査をする催しです。9月23日のクリーン作戦では、31名が参加し37袋のゴミを回収しました。海岸の人工ゴミを45分間拾い集め、その後人工ゴミを分類調査する班と自然ゴミを回収する班に別れました。人工ゴミは31種類に分類し集計しました。特に多かったのは、今、社会で問題となっているプラスチックゴミの「ペットボトル」で、その次に多かったのは「飲料缶」でした。調査には九州産業大学宗像ゼミの方々などに協力していただきました。（山之内）



和白干潟の 秋 の自然だより

(山本 廣子)

ウラギク (キク科) 環境省：準絶滅危惧 福岡県：絶滅危惧 B

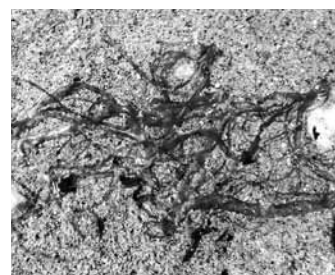


ウラギクの花

海岸の塩分を含む湿地に生える多年草です。大群落になることがあるようですが、以前私は唐原川河口の川の中に大群落となり咲いているウラギクの花を見て、感動しました。毎年少しずつ生息地が移動しているようです。昨秋は海の広場前やアシ原の中道、唐原川河口付近などで群落が見られました。薄紫色の花で、良い香りがします。キク科ですが葉は細長く、ハルジオンなどのシオンの仲間のように、ハマシオンとも言います。北海道、本州、四国、九州に生えていますが、塩生湿地植物が生える環境は埋め立てなどで激減しており、絶滅危惧種に指定されています。和白干潟では10月頃に花が咲き、11月頃に種ができて白い綿毛になります。綿毛もきれいです。和名は浦ギクです。

ボウアオノリ (アオサ科 アオノリ属)

ボウアオノリは和白干潟ではアオサに押されて目立ちませんが、春には小さなボウアオノリがたくさん岩や巻貝について発生しており、段々大きく長くなります。アオノリ属は体は管状で中空になっています。アオサよりも明るい黄緑色です。昨夏は梅雨が少ししかなく長く高温が続いたため、和白干潟ではアオサの発生が少なく、オゴノリやボウアオノリ、アサミドリシオグサが多く発生しました。しかし全体では例年のアオサ程多くは無いので、干潟に積もってヘドロとなる割合は少なかったです。オゴノリやボウアオノリは食用にもなるそうです。和白干潟沖に人工島ができてからは和白海域が停滞水域になり、窒素やリンなどが溜まって富栄養化が進み、アオサなどが異常繁殖するようになりました。この環境を改善しなければ、海藻の大量発生が止まりませんね。



ボウアオノリ

ダイゼン (チドリ科) 全長29cm



ダイゼン

ダイゼンは和白干潟では冬鳥として越冬しています。3羽~5羽程の小群でいることが多いです。水際でゴカイの穴にくちばしを差し込んで、引き出して食べています。和白干潟の奈多海岸にある廃船上に、カワウと共に休んでいる姿をよく見かけます。ハトくらいの大きさと丸っこい鳥です。目が黒くて大きく、真ん丸で可愛いです。冬羽は灰褐色で地味な色合いです。夏羽は額から胸腹まで黒くなりますが、和白干潟では飛び立った後でなかなか見られません。「ピウイ」と尻上がりの大きな声で鳴きます。

和白小学校4年生からの手紙

6月12日に和白干潟の観察会に来てくれた和白小学校4年生の皆さんから、お礼の手紙が届きました。守る会のガイドの熱心な活動に、子どもたちも大きく心をゆずられたそうです。実際に生きものたちを見て、感動したとのこと。和白干潟を大切に思ってくれたことがわかり、嬉しく思いました。和白干潟を守る会からも、皆で一言ずつ書いて返事を送りました。これからも和白干潟を学習して、自然を守る心を育てて行ってほしいですね。



「博多湾・和白干潟のラムサール条約登録」を求める要望書提出 14名参加

日本では2か所しかない自然海岸が残る干潟の一つ、和白干潟の環境保全活動を続けて今年4月で設立35年目を迎えるにあたり、7月18日(火)「和白干潟を守る会」山本代表以下10名と関係者4名は、福岡市高島市長宛に「博多湾・和白干潟のラムサール条約登録」を求める要望書を提出いたしました。後日回答が送られてきましたが、その内容は我々が要望する「博多湾・和白干潟のラムサール条約登録」には一切触れることが無く、具体的な保全方法や取り組みについての回答は有りませんでした。今後とも私たちは、将来にわたって和白干潟が守られるように、ラムサール条約登録を求めて、私たちができる環境保全活動を継続して行きます。



訃報 安東毅 先生

九大名誉教授の安東毅先生が、6月17日に亡くなりました。92歳でした。安東先生には、和白干潟を守る会を創設した初めの頃からお世話になりました。水質の専門家でしたので、和白干潟の水質の講演会などに来ていただいたり、守る会の助成金応募のための推薦状を書いていただきました。人工島が和白干潟の自然へ悪影響を及ぼす問題について、教えていただきました。どれだけ目に見えない自然を、生態系を壊しているのか、先生の胸中はどうだったかと思えます。ずっと和白干潟通信をお送りしていました。その通信を楽しみに読まれ、特に写真をじっくり眺めておられたそうです。ずっと和白干潟のことを思っていてくださっていたのだと思います。熱く思ってください方が亡くなられて残念です。ご冥福をお祈り申し上げます。(山本 廣子)

九大生からのインタビュー 9名参加

8月26日(土)九大生2名が、西区から和白干潟を訪問されました。自然保護活動や自然観察に興味のある方で、守る会の定例会議やクリーン作戦に参加して、1日中私たちと行動を共にし、お互いの質問を共有して有意義な一日でした。守る会の活動や後継者問題、地域とのかかわりなどをインタビューされました。自然を愛する素直な気持ちよい若者でした。彼らのメンバーは9名とのことで、いつかまた全員に会える日が来るのを楽しみに待っています。



ラムサール条約登録地を訪ねて 《北海道釧路湿原》 松田 元

ラムサール条約に登録された干潟や湿地は、どのように良くなり変わったりしたのかを聞いてみました。

雄大な北海道の東部に位置する釧路湿原国立公園、私は9年前の9月に車で一度訪ねましたが、それはそれは広大な湿地で、なかなか抜け出せず迷子になったかと思うくらいでした。日本で最初のラムサール条約登録地に指定されてから早43年が経過します。国の特別天然記念物のタンチョウをはじめ多くの動植物の生息地となっています。ラムサール条約登録地になってから7年後には国立公園にも指定され、かつて「不毛の大地」と呼ばれていましたが、湿地の自然環境に対する価値が、地域の活動を通して見出されました。2005年に湿地面積の減少、一部乾燥化、エゾシカの食害、周辺部分への太陽光発電パネルの乱立などへの対策として、自然再生推進法が施工され、自然再生事業がスタートしました。



気が付いたらあなたも電話してください!

海辺のゴミやアオサを取ってほしい時・自分でゴミを拾った時
092-282-7146 (港湾空港局・維持課)

沖のアオサを取ってほしい時
092-282-7154 (港湾空港局・みなと環境政策課)

弱った野鳥を見つけた時 092-513-5611 福岡県筑紫保健福祉環境事務所 地域環境課
092-643-3367 福岡県環境部 自然環境課 野生生物係

** お 願 い **

干潟でのゴルフやラジコンの練習、ドローンの使用はやめましょう! とても危険です。

干潟や堤防でゴミを燃やすのはやめましょう!
(ダイオキシン発生防止、ゴミの野焼き禁止)

犬のフンの始末は飼い主がしましょう!



活動日誌

(山之内 芳晴)

2023年6月

- 6/6 (火) 2023年度春期シギ・チドリ調査報告書作成
- 6/8 (木) 「和白干潟保全のつどい」会議参加
- 6/11 (日) ラブアースクリーンアップ参加の和白干潟のクリーン作戦
和白海岸探鳥会(日本野鳥の会 福岡支部)
- 6/12 (月) 和白小学校4年生の和白干潟観察会
- 6/20 (火) 和白干潟通信146号編集会議
- 6/24 (土) 定例会議・和白干潟クリーン作戦と自然観察

2023年7月

- 7/9 (日) 和白海岸探鳥会(日本野鳥の会 福岡支部)
- 7/11 (火) 和白干潟通信146号発送会
イオンイエローレシートキャンペーン
- 7/13 (木) 「和白干潟保全のつどい」会議参加
- 7/15 (土) 和白干潟の生きものやハマボウを見る会(和白干潟保全のつどい)
- 7/18 (火) 「博多湾・和白干潟のラムサール条約登録」を求める要望書提出
- 7/22 (土) 定例会議・和白干潟クリーン作戦と自然観察
- 7/30 (日) 「第25期和白干潟の自然観察ガイド講習会」フィールド編

2023年8月

- 8/6 (日) 2023年度秋期シギ・チドリ調査1回目(今津)
- 8/11 (金) イオンイエローレシートキャンペーン
- 8/13 (日) 和白海岸探鳥会(日本野鳥の会 福岡支部)
- 8/16 (水) 2023年度 秋期シギ・チドリ調査1回目(博多湾東部)
- 8/18 (金) 唐原川、和白川、五丁川のカメ調査
- 8/22 (火) 第35回和白干潟まつり第1回実行委員会
- 8/26 (土) 定例会議・和白干潟クリーン作戦と自然観察
九州大学生のインタビュー
- 8/29 (火) 和白干潟通信147号編集会議



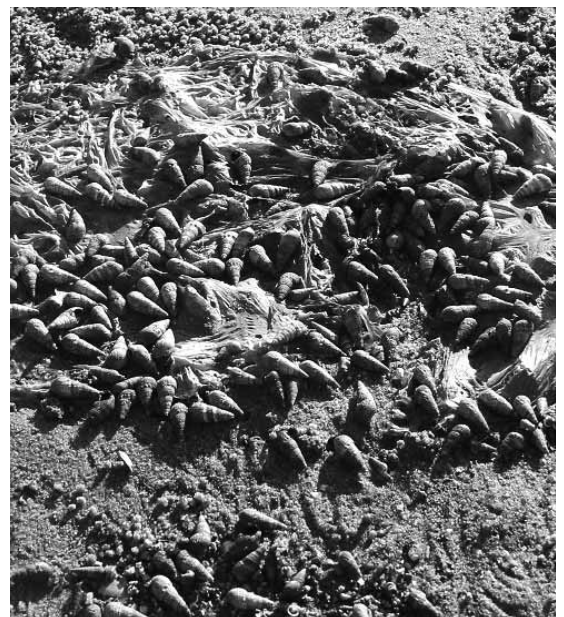
ミヤコドリ飛来情報



10月1日にミヤコドリ
8羽が和白干潟の雁ノ巣
海岸に飛来しました!

干潟のつぶやき「干潟があつい!」

気象庁の発表によると、今年の夏の平均気温は平年と比べ1.76度高く、夏の平均気温としては1898年の統計開始以降、これまで最も高かった2010年の1.08度を大きく上回り、この125年間で最高となりました。福岡市でも、6月上旬に一時的に平年を下回るタイミングがありましたが、7月と8月は、連日30度を越える真夏日が続き平年を大きく上回る水準で経過しました。和白干潟でも7月下旬から8月上旬にかけては、連日35度を越える猛暑日が続いています。干潟のアサリやゴカイには大丈夫かと思えるような暑さです。40度の暑さに耐えると言われているウミニナたちも、暑さから逃れるように干潟や干潟のアオサに山のように群がっています。今年の和白干潟はとにかくあつい、時には恵みの雨を降らせて干潟の生きもの達に安らぎを与えて欲しいなあ!



アオサに上がるウミニナ

和白干潟と私 11 (保全活動)

1991年から日本野鳥の会福岡支部のガン・カモ調査に協力して、年1回和白海域水鳥調査をしています。最初に参加した時には、和白干潟いっぱいのカモたちに混じってカンムリカイツブリが1000羽以上もいて、感動しました。1996年からはJAWAN主催「シギ・チドリ調査」に協力して年9回博多湾東部と今津のシギ・チドリやクロツラヘラサギなどの希少種の調査に協力しました。この調査は現在、環境省「モニタリングサイト1000シギ・チドリ調査」に引き継がれています。鳥類調査活動も継続して行っています。



「鳥類調査」

2012年には和白干潟の集水域保全の連携活動と呼びかけて、立花山と唐原川と和白干潟の保全グループで「山・川・海の流域会議」を作り、観察会や清掃活動や講演会などを企画しています。唐原川のことや源流の立花山のことでも色々わかってきました。

ホームページを企画して会員の方の協力で、1996年に和白干潟を守る会のホームページを開設しました。現在は4名で協力してホームページを更新しています。当初に守る会事務局の人たちにパソコン講習会をしてくださる方もあり、会員の連絡網「和白メール」が開設されて、連絡が楽になりました。パンフレットやリーフレット類も多く出しています。

「和白干潟通信」も1988年12月10日が第1号の発行です。その前にも準備号を出しています。2023年10月現在は147号です。どれも無事に継続できています。和白干潟通信は現在6名で編集をしています。和白干潟を守る会では、ほとんどの活動を数名で協力してやっています。1人では荷が重くても、分け合えば、1人分は少なく済みます。協力体制の中で、活動が継続しています。これからも継続できますように！（山本 廣子）

和白干潟の水質・砂質調査結果

表は2023年4月から2023年9月までの水質調査と砂質調査結果です。水質調査についてはリン・亜硝酸とも色見本の最低ランク付近であり、また、CODも「4」以下の月が2回あり水質は少し良い状態です。透視度は5月、6月、7月が悪く、全体的には良い時もあります。砂質調査については、表層酸化層の厚さが沖合い150メートル地点よりも浜辺から10メートル地点の方が薄く、浜辺側が汚れています。

水質調査結果 (2023年4月～2023年9月)

測定項目	単位	4月	5月	6月	7月	8月	9月
リン酸イオン (PO ₄)	mg/l	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02
化学的酸素要求量 (COD)	mg/l	4	5	5	5	5	4
亜硝酸 (NO ₂)	mg/l	0.005	0.005	0.005	0.005	0.005	0.005
透視度	cm	100	55	35	45	100	96

砂質調査結果 (2023年4月～2023年9月)

測定項目	単位	4月	5月	6月	7月	8月	9月
10 ^m 地点 表層酸化層の厚さ	mm	22	15	15	4	3	2
還元層の黒色度	-	12	13	12	13	13	13
150 ^m 地点 表層酸化層の厚さ	mm	20	15	15	9	12	9
還元層の黒色度	-	12	13	13	13	14	13

唐原川・和白川の水質調査結果

唐原川 水質調査結果 (2023年4月～2023年9月)

測定項目	単位	4月	5月	6月	7月	8月	9月
リン酸イオン (PO ₄)	mg/l	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.05
化学的酸素要求量 (COD)	mg/l	6	5	10	12	11	13
亜硝酸 (NO ₂)	mg/l	0.005	0.005	0.005	0.005	0.005	0.005

和白川 水質調査結果 (2023年4月～2023年9月)

測定項目	単位	4月	5月	6月	7月	8月	9月
リン酸イオン (PO ₄)	mg/l	0.02	0.02	0.05	0.02	0.02	0.2
化学的酸素要求量 (COD)	mg/l	5	5	6	6	6	13
亜硝酸 (NO ₂)	mg/l	0.005	0.005	0.005	0.005	0.005	0.005

守る会問い合わせ窓口

ホームページ：<http://wajirohigata.sakura.ne.jp/>

入会 / 観察会 (申込等) 山之内 芳晴 Tel. 090-8412-2663
 クリーン作戦 田辺 スミ子 Tel. 090-1346-0460
 広報 / 調査 / 定例会議 山本 廣子 Tel. 092-606-0012
 干潟まつり 松尾 満子 Tel. 090-9651-8489



和白干潟エコチャレンジ ~アオサのお掃除大作戦

日時：10月29(日) 14時~16時
 集合：和白干潟(海の広場) 東区和白4丁目海岸
 主催：和白干潟保全のつどい
 問い合わせ：TEL090-8412-2663(山之内)

バードウォッチング 和白干潟2023

日時：12月2日(土) 10時~12時
 集合：和白干潟(海の広場) 東区和白4丁目海岸
 主催：和白干潟保全のつどい
 問い合わせ：TEL090-8412-2663(山之内)

九州産業大学特別講義開催

テーマ「和白干潟や地球の自然を守る」

日時：12月23日(土) 11:00~12:40
 会場：九州産業大学 1号館4階S403教室
 講師：山本 廣子 氏：和白干潟を守る会代表
 主催：九州産業大学 地域共創学部地域づくり学科
 参加：無料 一般の参加もできます。
 問い合わせ：TEL092-673-5294(内線5294)
 (九産大 地域共創学部宗像研究室)

定例スケジュール

定例会議(10/28, 11/25, 12/16)

毎月第4土曜日 12時~14時 守る会事務所にて開催。
 12月は第3土曜日

以下は参加自由です。仲間が待っています!

クリーン作戦と自然観察(10/28, 11/25, 12/16)

毎月第4土曜日15時~17時 和白干潟・海の広場集合
 長靴があると便利。駐車場なし。 12月は第3土曜日

和白海岸探鳥会(11/12, 12/10, 1/14)

毎月第2日曜日9時~12時 JR和白駅前の和白公園集合
 参加費：一般300円 中学生以下は無料 野鳥の会会員100円
 主催：日本野鳥の会 福岡支部



会員募集中

年会費：個人 2,000円
 団体 5,000円

カンパのお願い

郵便振替 01720-4-23860
 和白干潟を守る会

ボランティアへのお誘い

和白干潟の清掃、鳥の調査のお手伝い(車の運転、記録)、観察会のお手伝い(写真撮影)などです。

参加をお待ちしています!

和白干潟の鳥たち(その103)

トウネン(チドリ目 シギ科 / Rufous-necked Sandpiper) 当年【全長：15cm】



写真撮影：三宅 僚

トウネンは和白干潟では旅鳥で春と秋に立ち寄って行きますが、まれに冬にも観察されます。「当年」は「その年生まれ」という意味で、トウネンが小さいので「1歳のような小さい鳥」という意味だそうです。和白干潟では、暑い8月に、砂浜に積もったアオサについているハマトビムシなどをついばみながら、並んで歩くようすを良く見かけます。秋の渡りの初め頃です。私は沿岸に咲くハマゴウの花と一緒にトウネンをきりえで描きました。春には赤っぽく色づいて、可愛い鳥です。以前はもっと多くの群れで来たこともありますが、近年は5羽~10羽くらいの群れでいるようです。またたくさんのトウネンに来てほしいですね。

(山本 廣子)

【編集】今林 眞由美・松藤 真理奈・山本 廣子・山之内 芳晴・田辺 スミ子・松田 元
 カット くすだ ひろこ 次号は2024年1月に発行予定

【編集後記】今年の夏は観測史上最高の暑さのなか、干潟の生き物たちも堪えたことでしょう。しかし年々増加するハマボウの花は、黄色い花びらと緑の葉が綺麗でした。また干潟から見た緑色の立花山と青い空と白い雲、その美しさは鮮やかに目に焼き付いています。(松田)

